

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、18～22℃台を示し、平年並み～高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週の24%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の69%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり0.2kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり5kgの水揚げ（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり31kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり20kgの水揚げで、前週の1.7倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり404kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり158kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり130kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり137kgの水揚げで、前週の79%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり26kgの水揚げ（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/30～12/5の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆西で操業中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖で僅か操業船あり。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>